



## 2019年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 コナカ

コード番号 7494 URL <http://www.konaka.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長CEO (氏名) 湖中 謙介

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役CFO管理本部長 (氏名) 二田 孝文

定時株主総会開催予定日 2019年12月17日

配当支払開始予定日

TEL 045-825-7700

2019年12月18日

有価証券報告書提出予定日 2019年12月17日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年9月期の連結業績(2018年10月1日～2019年9月30日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期	60,698	△6.8	73	△91.9	454	△66.8	△5,344	—
2018年9月期	65,145	△4.4	901	△48.0	1,368	△44.1	△493	—

(注) 包括利益 2019年9月期 △5,241百万円 (—%) 2018年9月期 563百万円 (△70.7%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年9月期	△183.54	—	△11.9	0.6	0.1
2018年9月期	△16.93	—	△1.0	1.8	1.4

(参考) 持分法投資損益 2019年9月期 一百万円 2018年9月期 一百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年9月期	67,556	42,862	62.1	1,440.64
2018年9月期	73,480	48,696	65.0	1,640.64

(参考) 自己資本 2019年9月期 41,946百万円 2018年9月期 47,770百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年9月期	3,846	△3,809	△1,462	8,537
2018年9月期	3,950	△1,476	△798	9,952

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年9月期	—	10.00	—	10.00	20.00	582	—	1.2
2019年9月期	—	10.00	—	10.00	20.00	582	—	1.3
2020年9月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 2020年9月期の連結業績予想が未定であることから、配当予想額は現時点で未定であります。

## 3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 連結業績予想につきましては、現時点では業績に影響を与える未確定な要素が多いため、業績予想を数値で示すことが困難な状況です。連結業績予想については、合理的に予測可能となった時点で公表します。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年9月期	31,146,685 株	2018年9月期	31,146,685 株
② 期末自己株式数	2019年9月期	2,029,832 株	2018年9月期	2,029,405 株
③ 期中平均株式数	2019年9月期	29,116,980 株	2018年9月期	29,117,632 株

(参考) 個別業績の概要

1. 2019年9月期の個別業績(2018年10月1日～2019年9月30日)

(1) 個別経営成績 (％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期	35,617	△8.3	△383	—	3	△99.3	△4,672	—
2018年9月期	38,826	△4.1	44	△92.4	532	△39.7	△755	—

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期	△160.49	—
2018年9月期	△25.94	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
2019年9月期	54,989		33,063		60.1	1,135.55		
2018年9月期	56,454		37,943		67.2	1,303.13		

(参考) 自己資本 2019年9月期 33,063百万円 2018年9月期 37,943百万円

2. 2020年9月期の個別業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

(％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注)業績予想につきましては、現時点では業績に影響を与える未確定な要素が多いため、業績予想を数値で示すことが困難な状況です。業績予想については、合理的に予測可能となった時点で公表します。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P31「経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

(決算説明会資料について)

当社は、2019年11月27日(水)に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この決算説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

(日付の表示変更について)

2019年9月期より、日付の表示を和暦から西暦へ変更しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(表示方法の変更) .....	12
(セグメント情報) .....	12
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	14
4. 個別財務諸表及び主な注記 .....	15
(1) 貸借対照表 .....	15
(2) 損益計算書 .....	17
(3) 株主資本等変動計算書 .....	18
(4) 個別財務諸表に関する注記事項 .....	20
(重要な後発事象) .....	20
5. その他 .....	20
(1) 役員の変動 .....	20
(2) その他 .....	20

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、雇用・所得政策の改善が続き緩やかな回復基調をベースに推移いたしました。中国を中心とする海外経済の不確実性、消費税率の引上げによる景気先行きの不透明感、消費者物価の緩やかな上昇などの影響を受け、個人消費は持ち直しているものの消費マインドは弱含みの状況で推移いたしました。

このような状況のもと、主力となるファッション事業においては、動きやすさ・イージーケアの機能性を究極まで追求した「ウルトラムーブシリーズ」「4Sシリーズ」など、ビジネス関連商品において大変ご好評をいただきました。カスタムオーダー業態DIFFERENCEにおきましては、AI技術を活用した画像採寸アプリによるオーダー発注サービスを従来のスーツ・シャツからアクセサリーを含む全8アイテムまで拡大いたしました。また、経済産業省創設の「おもてなし規格認証制度」における「紺認証」取得や「サービス オブ ザ・イヤー」の6年連続受賞など、接客サービスの向上にも努めてまいりました。しかしながら、暖冬による防寒衣料の苦戦、クールビズの更なるカジュアル化、豪雨及び台風などの自然災害の影響を受け厳しい商戦となりました。この結果、売上高は580億97百万円(前年同期比7.6%減)となりました。

フードサービス事業につきましては、「かつや」「からやま」とともに順調に推移し、売上高は18億50百万円(前年同期比9.0%増)となりました。

教育事業につきましては、「Kids Duo」「Kids Duo International」とともに計画通りに推移し、売上高は7億50百万円(前年同期比34.8%増)となりました。

グループの店舗数につきましては、SUIT SELECTを11店舗、DIFFERENCEを6店舗、フードサービス事業ではかつやを1店舗、教育事業ではKids Duoを3校、合計21店舗を新規に出店いたしました。一方、期間満了や移転等により38店舗を退店し542店舗となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は606億98百万円(前年同期比6.8%減)、営業利益は73百万円(前年同期比91.9%減)、経常利益は4億54百万円(前年同期比66.8%減)、親会社株主に帰属する当期純損失は53億44百万円(前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失4億93百万円)となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### ① 資産

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ59億24百万円減少し675億56百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比べ39億54百万円減少し290億81百万円となりました。主な要因は、前連結会計年度末と比べ現金及び預金が14億14百万円、商品及び製品が20億25百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ19億70百万円減少し384億74百万円となりました。主な要因は、株式の取得等により、投資その他の資産が25億71百万円増加したものの減損損失の計上等により、有形固定資産が45億17百万円減少したことによるものであります。

#### ② 負債

当連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ91百万円減少し246億93百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比べ41億87百万円増加し153億32百万円となりました。主な要因は、前連結会計年度末と比べ短期借入金が16億80百万円、1年内返済予定の長期借入金が24億60百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ42億78百万円減少し93億60百万円となりました。主な要因は、長期借入金が前連結会計年度末に比べ49億45百万円減少したことによるものであります。

#### ③ 純資産

当連結会計年度末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ58億33百万円減少し428億62百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する当期純損失53億44百万円によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、投資有価証券の取得による支出がありましたが、たな卸資産の減少や減価償却費及び減損損失の計上により、当連結会計年度末の資金残高は85億37百万円（前年同期比14億14百万円減）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は38億46百万円（前年同期比1億4百万円減）となりました。これは主に税金等調整前当期純損失43億56百万円の計上がありましたが、たな卸資産の減少21億10百万円や減価償却費15億44百万円及び減損損失46億76百万円の計上によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は38億9百万円（前年同期比23億33百万円増）となりました。これは主に投資有価証券の取得33億36百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は14億62百万円（前年同期比6億64百万円増）となりました。これは主に借入金の減少8億5百万円及び配当金の支払額5億81百万円によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、ビジネスコードの変化によるスーツ市場の中長期的縮小やインターネットを活用した業態の成長など、厳しい環境が続くものと思われませんが、「すべては品質から」のコンセプトのもと、機能性商品の開発やAI技術を活用したDIFFERENCEの成長など、コナカの企画と技術を最大限活用し多様化するニーズに対応するとともに、コナカグループ内での新たなシナジー効果を十分に発揮させ業績の改善に全力で取り組んでまいります。

業績予想につきましては、現時点では業績に影響を与える未確定な要素が多いため、業績予想を数値で示すことが困難な状況です。業績予想については、合理的に予測可能となった時点で公表します。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、国内外の諸情勢等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当連結会計年度 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,957	8,542
受取手形及び売掛金	1,898	1,846
有価証券	200	-
商品及び製品	19,068	17,043
原材料及び貯蔵品	433	349
その他	1,479	1,299
貸倒引当金	△1	-
流動資産合計	33,035	29,081
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	31,164	28,009
減価償却累計額	△21,167	△20,717
建物及び構築物 (純額)	9,997	7,292
機械装置及び運搬具	438	445
減価償却累計額	△318	△357
機械装置及び運搬具 (純額)	120	88
工具、器具及び備品	8,850	8,340
減価償却累計額	△7,673	△7,677
工具、器具及び備品 (純額)	1,177	662
土地	12,232	10,983
リース資産	342	326
減価償却累計額	△193	△191
リース資産 (純額)	148	134
建設仮勘定	4	1
有形固定資産合計	23,680	19,162
無形固定資産		
電話加入権	63	61
その他	341	319
無形固定資産合計	404	381
投資その他の資産		
投資有価証券	5,561	9,271
長期貸付金	1,275	1,049
敷金及び保証金	8,565	7,957
退職給付に係る資産	332	216
その他	703	487
貸倒引当金	△79	△52
投資その他の資産合計	16,359	18,931
固定資産合計	40,444	38,474
資産合計	73,480	67,556

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当連結会計年度 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,007	1,291
電子記録債務	2,361	2,415
短期借入金	2,369	4,050
1年内返済予定の長期借入金	1,855	4,315
未払金	252	258
未払費用	1,701	1,510
未払法人税等	375	342
未払消費税等	339	178
賞与引当金	308	299
役員賞与引当金	—	1
デリバティブ負債	—	33
その他	573	636
流動負債合計	11,145	15,332
固定負債		
長期借入金	9,814	4,869
長期未払金	53	47
繰延税金負債	898	1,690
退職給付に係る負債	591	573
役員退職慰労引当金	166	178
ポイント引当金	1,177	874
長期預り保証金	449	689
その他	488	436
固定負債合計	13,639	9,360
負債合計	24,784	24,693
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,305	5,305
資本剰余金	14,745	14,745
利益剰余金	27,985	22,058
自己株式	△3,341	△3,342
株主資本合計	44,694	38,767
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,844	3,057
為替換算調整勘定	74	77
退職給付に係る調整累計額	157	44
その他の包括利益累計額合計	3,076	3,179
非支配株主持分	925	916
純資産合計	48,696	42,862
負債純資産合計	73,480	67,556

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	当連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)
売上高	65,145	60,698
売上原価	29,623	28,033
売上総利益	35,521	32,665
販売費及び一般管理費	34,619	32,592
営業利益	901	73
営業外収益		
受取利息	26	22
受取配当金	71	79
不動産賃貸料	500	516
為替差益	15	18
デリバティブ評価益	48	-
その他	101	134
営業外収益合計	764	772
営業外費用		
支払利息	76	61
デリバティブ評価損	-	80
不動産賃貸費用	183	205
貸倒引当金繰入額	22	-
その他	15	42
営業外費用合計	297	390
経常利益	1,368	454
特別利益		
固定資産売却益	43	11
移転補償金	10	-
特別利益合計	53	11
特別損失		
固定資産除却損	19	38
減損損失	1,191	4,676
店舗閉鎖損失	229	107
特別損失合計	1,440	4,822
税金等調整前当期純損失(△)	△18	△4,356
法人税、住民税及び事業税	333	284
法人税等調整額	122	697
法人税等合計	455	982
当期純損失(△)	△474	△5,338
非支配株主に帰属する当期純利益	19	5
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△493	△5,344



(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	当連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)
当期純損失 (△)	△474	△5,338
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,019	208
為替換算調整勘定	10	2
退職給付に係る調整額	7	△113
その他の包括利益合計	1,037	97
包括利益	563	△5,241
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	544	△5,241
非支配株主に係る包括利益	18	0

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,305	14,745	29,060	△3,341	45,770
当期変動額					
剰余金の配当			△582		△582
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△493		△493
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分			△0	0	0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	-	-	△1,075	△0	△1,075
当期末残高	5,305	14,745	27,985	△3,341	44,694

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘 定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	1,824	64	149	2,039	920	48,729
当期変動額						
剰余金の配当				-		△582
親会社株主に帰属する当期純損失(△)				-		△493
自己株式の取得				-		△0
自己株式の処分				-		0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,019	10	7	1,037	5	1,042
当期変動額合計	1,019	10	7	1,037	5	△33
当期末残高	2,844	74	157	3,076	925	48,696

当連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,305	14,745	27,985	△3,341	44,694
当期変動額					
剰余金の配当			△582		△582
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)			△5,344		△5,344
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					-
当期変動額合計	-	-	△5,926	△0	△5,926
当期末残高	5,305	14,745	22,058	△3,342	38,767

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘 定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	2,844	74	157	3,076	925	48,696
当期変動額						
剰余金の配当				-		△582
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)				-		△5,344
自己株式の取得				-		△0
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	213	2	△113	102	△9	93
当期変動額合計	213	2	△113	102	△9	△5,833
当期末残高	3,057	77	44	3,179	916	42,862

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	当連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純損失 (△)	△18	△4,356
減価償却費	1,786	1,544
減損損失	1,191	4,676
デリバティブ評価損益 (△は益)	△48	80
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	24	△28
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△38	△15
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	11	11
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△288	△303
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△103	△8
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5	1
長期貸付金の家賃相殺額	225	202
敷金及び保証金の家賃相殺額	39	13
固定資産売却損益 (△は益)	△42	△11
固定資産除却損	19	38
受取利息及び受取配当金	△98	△102
支払利息	76	61
為替差損益 (△は益)	49	△11
売上債権の増減額 (△は増加)	△100	52
たな卸資産の増減額 (△は増加)	2,420	2,110
仕入債務の増減額 (△は減少)	△958	193
未払消費税等の増減額 (△は減少)	140	△160
その他	19	149
小計	4,300	4,136
利息及び配当金の受取額	74	81
利息の支払額	△89	△57
法人税等の支払額	△377	△361
法人税等の還付額	41	47
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,950	3,846
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	100	—
有価証券の取得による支出	△200	—
有形固定資産の取得による支出	△1,358	△542
有価証券の売却及び償還による収入	—	200
有形固定資産の売却による収入	53	19
有形固定資産の除却による支出	△199	△213
無形固定資産の取得による支出	△104	△299
投資有価証券の取得による支出	—	△3,336
敷金及び保証金の差入による支出	△230	△198
敷金及び保証金の回収による収入	524	539
貸付けによる支出	△98	—
貸付金の回収による収入	5	5
その他	32	15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,476	△3,809

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	当連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,070	1,680
長期借入れによる収入	3,300	4,800
長期借入金の返済による支出	△2,363	△7,285
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△581	△581
非支配株主への配当金の支払額	△9	△9
その他	△73	△66
財務活動によるキャッシュ・フロー	△798	△1,462
現金及び現金同等物に係る換算差額	△47	11
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,627	△1,414
現金及び現金同等物の期首残高	8,324	9,952
現金及び現金同等物の期末残高	9,952	8,537

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用に伴う変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日。以下「税効果会計基準一部改正」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」が329百万円減少し、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」が17百万円増加しております。また、「固定負債」の「繰延税金負債」が312百万円減少しております。

なお、同一納税主体の繰延税金資産と繰延税金負債を相殺して表示しており、変更前と比べて総資産が312百万円減少しております。

(連結キャッシュ・フロー計算書)

前連結会計年度において、「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めていた「無形固定資産の取得による支出」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた△71百万円は、「無形固定資産の取得による支出」△104百万円、「その他」32百万円として組み替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前連結会計年度(自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)

当社グループの報告セグメントは、ファッション事業、フードサービス事業及び教育事業であります。フードサービス事業及び教育事業の全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、ファッション事業を中心としており、取扱商品・サービスについて包括的に戦略を構築しております。従って、取扱商品・サービス別にセグメントが構成されており、「ファッション事業」「フードサービス事業」「教育事業」の3つを報告セグメントとしております。なお、「ファッション事業」は、メンズ及びレディース並びに服飾雑貨等の企画・製造・販売、「フードサービス事業」は、かつや、からやま等の運営、「教育事業」は、Kids Duo及びKids Duo International」を運営しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
当連結会計年度（自 2018年10月1日 至 2019年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注)	合計
	ファッション 事業	フードサー ビス事業	教育事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	58,097	1,850	750	60,698	—	60,698
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	58,097	1,850	750	60,698	—	60,698
セグメント利益 又は損失（△）	85	△30	18	73	—	73
セグメント資産	56,471	1,373	398	61,599	9,313	67,556
その他の項目						
減価償却費	1,243	69	36	1,349	—	1,349
持分法適用会社への投資額	3,356	—	—	—	—	3,356
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	942	53	75	1,071	—	1,071

（注） 1. セグメント資産の調整額5,956百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

2. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益であります。

（1株当たり情報）

前連結会計年度 （自 2017年10月1日 至 2018年9月30日）		当連結会計年度 （自 2018年10月1日 至 2019年9月30日）	
1株当たり純資産額	1,640円64銭	1株当たり純資産額	1,440円64銭
1株当たり当期純損失	16円93銭	1株当たり当期純損失	183円54銭

（注） 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （自 2017年10月1日 至 2018年9月30日）	当連結会計年度 （自 2018年10月1日 至 2019年9月30日）
親会社株主に帰属する当期純損失（△） （百万円）	△493	△5,344
普通株主に帰属しない金額（百万円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当 期純損失（△）（百万円）	△493	△5,344
期中平均株式数（株）	29,117,632	29,116,980

(重要な後発事象)

(連結子会社の吸収合併)

当社は、2019年10月23日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社フタタを吸収合併することを決議し、同日付で合併契約を締結いたしました。

#### 1. 取引の概要

(1) 被合併企業の名称及びその事業の内容

被合併企業の名称：株式会社フタタ

事業の内容：紳士服及び関連洋品の販売

(2) 企業結合日

2020年1月1日

(3) 企業結合の法的形式

当社を存続会社、株式会社フタタを消滅会社とする吸収合併

(4) 企業結合後の名称

株式会社コナカ

(5) その他取引の概要に関する事項

株式会社フタタは、主に九州地区において紳士服事業を展開しております。

当社とは既に人材交流、共同仕入れ、営業面のノウハウ共有等により経営の効率化を進めてまいりましたが、更なる営業体制の強化と管理業務の効率化及び意思決定の迅速化を目指すとともに、キャッシュ・フロー及び経営資源の活用についても効率化を図る観点から、吸収合併を行うものであります。

#### 2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として会計処理を実施する予定であります。



4. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2018年9月30日)	当事業年度 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,117	4,227
売掛金	1,220	1,225
商品及び製品	11,410	10,036
原材料及び貯蔵品	389	318
前渡金	229	185
前払費用	385	360
関係会社短期貸付金	258	327
その他	381	256
流動資産合計	17,392	16,937
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,042	2,062
構築物	116	46
機械及び装置	82	55
車両運搬具	0	0
工具、器具及び備品	823	341
土地	5,195	3,947
その他	0	0
有形固定資産合計	10,261	6,454
無形固定資産		
借地権	47	46
商標権	0	0
ソフトウェア	221	65
ソフトウェア仮勘定	8	-
電話加入権	44	44
無形固定資産合計	323	157
投資その他の資産		
投資有価証券	4,423	4,982
関係会社株式	15,854	19,211
長期貸付金	393	289
従業員に対する長期貸付金	0	0
関係会社長期貸付金	1,220	993
長期前払費用	171	36
敷金及び保証金	6,604	6,133
その他	144	117
貸倒引当金	△315	△324
投資損失引当金	△19	-
投資その他の資産合計	28,477	31,439
固定資産合計	39,062	38,051
資産合計	56,454	54,989

(単位：百万円)

	前事業年度 (2018年9月30日)	当事業年度 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	149	22
電子記録債務	1,997	1,973
買掛金	417	787
短期借入金	2,100	2,100
関係会社短期借入金	3,350	5,650
1年内返済予定の長期借入金	1,055	3,815
未払金	80	101
未払費用	1,202	1,034
未払法人税等	273	258
前受金	178	289
預り金	176	101
前受収益	41	69
賞与引当金	117	124
その他	264	78
流動負債合計	11,406	16,406
固定負債		
長期借入金	4,334	2,319
長期末払金	47	45
繰延税金負債	714	1,267
退職給付引当金	670	626
ポイント引当金	1,007	729
長期預り保証金	251	500
その他	78	30
固定負債合計	7,105	5,518
負債合計	18,511	21,925
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,305	5,305
資本剰余金		
資本準備金	14,745	14,745
資本剰余金合計	14,745	14,745
利益剰余金		
利益準備金	370	370
その他利益剰余金		
圧縮記帳積立金	272	258
別途積立金	9,300	9,300
繰越利益剰余金	8,692	3,450
利益剰余金合計	18,634	13,379
自己株式	△3,355	△3,355
株主資本合計	35,330	30,075
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,612	2,988
評価・換算差額等合計	2,612	2,988
純資産合計	37,943	33,063
負債純資産合計	56,454	54,989

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	当事業年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)
売上高	38,826	35,617
売上原価		
商品期首たな卸高	13,452	11,410
当期商品仕入高	13,147	12,832
合計	26,600	24,243
商品期末たな卸高	11,410	10,036
商品売上原価	15,189	14,206
売上総利益	23,636	21,410
販売費及び一般管理費	23,592	21,793
営業利益又は営業損失 (△)	44	△383
営業外収益		
受取利息	21	19
受取配当金	242	249
不動産賃貸料	151	136
投資損失引当金戻入額	80	19
その他	128	119
営業外収益合計	623	544
営業外費用		
支払利息	39	41
デリバティブ評価損	-	53
不動産賃貸費用	46	48
貸倒引当金繰入額	45	8
その他	3	5
営業外費用合計	135	156
経常利益	532	3
特別利益		
固定資産売却益	43	4
移転補償金	10	-
特別利益合計	53	4
特別損失		
固定資産除却損	12	29
減損損失	960	4,080
店舗閉鎖損失	207	59
特別損失合計	1,180	4,170
税引前当期純損失 (△)	△594	△4,161
法人税、住民税及び事業税	146	141
法人税等調整額	14	369
法人税等合計	160	511
当期純損失 (△)	△755	△4,672

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)

(単位: 百万円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金			利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金			
				圧縮記帳積立金	別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	5,305	14,745	14,745	370	278	9,300	10,024	19,972
当期変動額								
圧縮記帳積立金の取崩			-		△5		5	-
剰余金の配当			-				△582	△582
当期純損失 (△)			-				△755	△755
自己株式の取得			-					-
自己株式の処分			-				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)			-					-
当期変動額合計	-	-	-	-	△5	-	△1,331	△1,337
当期末残高	5,305	14,745	14,745	370	272	9,300	8,692	18,634

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△3,354	36,669	1,640	1,640	38,309
当期変動額					
圧縮記帳積立金の取崩		-		-	-
剰余金の配当		△582		-	△582
当期純損失 (△)		△755		-	△755
自己株式の取得	△0	△0		-	△0
自己株式の処分	0	0		-	0
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)		-	972	972	972
当期変動額合計	△0	△1,338	972	972	△365
当期末残高	△3,355	35,330	2,612	2,612	37,943

当事業年度（自 2018年10月1日 至 2019年9月30日）

（単位：百万円）

	株主資本							利益剰余金 合計
	資本金	資本剰余金		利益準備金	その他利益剰余金			
		資本準備金	資本剰余金 合計		圧縮記帳積 立金	別途積立金	繰越利益剰 余金	
当期首残高	5,305	14,745	14,745	370	272	9,300	8,692	18,634
当期変動額								
圧縮記帳積立金の取崩			-		△13		13	-
剰余金の配当			-				△582	△582
当期純損失（△）			-				△4,672	△4,672
自己株式の取得			-					-
株主資本以外の項目の当期変動 額（純額）			-					-
当期変動額合計	-	-	-	-	△13	-	△5,241	△5,255
当期末残高	5,305	14,745	14,745	370	258	9,300	3,450	13,379

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合 計	その他有価 証券評価差 額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△3,355	35,330	2,612	2,612	37,943
当期変動額					
圧縮記帳積立金の取崩		-		-	
剰余金の配当		△582		-	△582
当期純損失（△）		△4,672		-	△4,672
自己株式の取得	△0	△0		-	△0
株主資本以外の項目の当期変動 額（純額）		-	375	375	375
当期変動額合計	△0	△5,255	375	375	△4,879
当期末残高	△3,355	30,075	2,988	2,988	33,063

(4) 個別財務諸表に関する注記

(重要な後発事象)

(連結子会社の吸収合併)

連結財務諸表の「注記(重要な後発事象)」に同一の内容を記載しているため、注記を省略しております。

5. その他

(1) 役員の変動

① 代表取締役の変動

該当事項はありません。

② その他の役員の変動

・新任取締役候補

取締役

土屋 繁之 (現 ㈱フタタ専務取締役営業本部長)

中川 和幸 (現 執行役員商品本部長)

・退任予定取締役

取締役

二田 孝文 (現 専務取締役CFO管理本部長)

鈴木 茂樹 (現 常務取締役ディファレンス事業本部長兼スーツセレクト担当)

・就任及び退任予定日

2019年12月17日

(2) その他

該当事項はありません。